

ビーナイン[®] 顆粒水溶剤

農林水産省登録第 22759 号



日本曹達株式会社農業化学品事業部普及グループ

1. はじめに

ビーナイン水溶剤は花類の節間伸長抑制剤として長年ご使用頂いております。

この度、ハンドリングを改善し、粉立ちを抑制する目的から、顆粒水溶剤を開発しました。

十分な現場での実使用試験を実施し、効果およびハンドリングにおいて問題がないことが確認されましたので、平成 23 年 10 月より販売を開始しました。

使用方法や登録内容は水溶剤と全く変わりません。また、きく（切花用）につきましては希釈倍数が 500 ～ 5,000 倍に拡大しています。平成 23 年 12 月 14 日より水溶剤、顆粒水溶剤ともに全ての適用作物が「(施設栽培)」に限定されました。

これまでの水溶剤同様にご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

2. 有効成分と製剤

(農林水産省登録 第22759 号)

成分 N - (ジメチルアミノ)スクシンアミド酸(ダミノジッド)… 80.0 %

剤型 顆粒水溶剤

性状 黄赤色水溶性細粒

製剤毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

3. 安全性

有害性情報

刺激性：

皮膚刺激性(製品) 刺激性なし(ウサギ)

眼刺激性(製品) 軽度の刺激

感作性(製品) 感作性なし

急性毒性：

急性経口毒性(製品) LD₅₀(ラット)：>5,000mg/kg

LD₅₀(マウス)：>5,000mg/kg

急性経皮毒性(製品) LD₅₀(ラット)：>2,000mg/kg

環境影響情報

環境影響情報：

植物成長調整剤なので、飛散により周辺の作物やその他の植物の成育に影響を与えることがあるので注意する。

環境毒性：

急性魚毒性(製品) LC₅₀(コイ)：240mg/L (96hr)

ミジンコ遊泳阻害毒性(製品) EC₅₀：118mg/L (48hr)

藻類生長阻害毒性(製品) ErC₅₀：130mg/L (72hr)

4. 特長

- ・花類には開花の時期、花や葉の大きさ、結実などに影響なく、節間の伸長だけを抑制します
- ・きく（切花用）に対しては、節間がつまり、花首の伸長を抑制します
- ・粉立ちが少なく使いやすい製剤です

上手な使い方

作物の生長点を中心に茎葉散布することにより、その後の生育を抑え、草丈を短くすることができます。



- ・花きの伸長抑制に使用する場合、種類、濃度等によって効果の持続期間が異なるので、必要に応じて散布濃度や使用回数を調整してください。
- ・散布前に、しっかり株元灌水してください。

適用作物と使用方法

作物名 (施設栽培)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	使用方法	総使用回数	
						本剤	ダミノジッド
きく (切花用)	節間の伸長抑制	500～5,000	50～150ℓ/10a	生育期	茎葉散布	4回以内	6回以内
	花首の伸長抑制			発蕾期～摘蕾期		2回以内	
きく (ポットマム)	節間の伸長抑制	200～400	5～10ml/5号鉢	摘芯後10～7日 又は定植3日後 から発蕾初期		3回以内	3回以内
ポインセチア		100～200	50～150ℓ/10a	定植後3～30日		1回	1回
ハイドランジア						2回以内	2回以内
はばたん		200～400		子葉展開後 鉢上げ後		1回	4回以内
ペチュニア		100～200		定植後2週間目 鉢上げ後		4回以内	6回以内 (水溶剤は4回以内)
		200～400					
アザレア		150		摘芯後30～40日		1回	3回以内
		200～400		摘芯後30～120日		3回以内	
あさがお	400～800	本葉5～7枚の時	1回	1回			
パンジー	200～400	鉢上げ後	4回以内	4回以内			
しゃくなげ	節間の伸長抑制、 着蕾数増加	75～100	100ml/5号鉢	新梢伸長完了期を 1回目として 3回処理(1ヶ月間隔)	3回	3回	

2011年12月現在の登録内容